

2025年9月24日
イオン北海道株式会社

～湿地の生態系保全を学び、自然との関わりを体験～

イオン チアーズクラブメンバーが 南幌町で「ミズゴケ環境体験プログラム」に参加

イオン北海道株式会社（以下、当社）は、2025年9月27日（土）に株式会社エコテックのご協力のもと「イオン チアーズクラブ」のメンバーを対象に、南幌町夕張川幌向地区自然再生地にて「ミズゴケ環境体験プログラム」を開催します。

イオン チアーズクラブは、公益財団法人イオンワンパーセントクラブの「子どもたちの健全な育成」事業の一つで、小学生を中心とした子どもたちが、全国のイオングループの店舗等を活動拠点として、環境や社会貢献をテーマに様々な体験学習を行い、楽しく学び、考える活動をしています。

湿地におけるミズゴケは、高い保水力で湿原の乾燥を防ぎ、泥炭の形成と二酸化炭素の長期固定に寄与するなど、湿地環境の形成・維持と多様な生物の生息地支援という重要な役割があります。今回の体験プログラムは、湿地の生態系や植生の観察、ミズゴケの移植体験を通じて、自然環境の大切さや生態系保全活動の意義を学ぶことを目的としており、今年度のイオン チアーズクラブの活動テーマである「ゴミ」が生態系に与える影響についても考える機会となります。

当日は、株式会社エコテック所属の環境カウンセラーを講師に迎え、堤防上から再生地の概要説明を受けた後、湿地内での生き物や植生の観察、ミズゴケの移植作業を体験します。雨天時には江別防災ステーションにて代替プログラムを実施し、スライドや模型を使った学習を行います。

当社は、次代を担う子どもたちが自然環境の大切さを理解し、持続可能な社会の実現に貢献できるよう、今後も多様な環境教育プログラムの提供を継続してまいります。



【2024年に養護学校で実施した「ミズゴケフロート工作実習」の様子】

【ミズゴケ環境体験プログラムの概要】

日 時：9月27日（土） 10：00～12：00
場 所：南幌町 夕張川 幌向地区自然再生地
（雨天時は江別防災ステーション研修室）
参 加 者：イオン チアーズクラブ 江別
15名（コーディネーター・従業員含む）

【本件に関するお問い合わせ先】

イオン北海道株式会社 コーポレートコミュニケーション部 電話番号：０１１-８６５-９１１１

■SDGsの取り組み

SDGs（持続可能な開発目標）は、持続可能な世界を実現するために国連サミットで採択された、2030年までの国際目標です。当社は、SDGsの目標達成に向けて取り組みを推進しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



ご参考

◆公益財団法人イオンワンパーセントクラブについて

公益財団法人イオンワンパーセントクラブは、「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオングループの基本理念を具体的な行動に移し、社会的責任を果たすことを目的に、1990年に設立されました。以来、お客さまにイオングループをご利用いただいて生まれた利益の1%相当額をもとに、「子どもたちの健全な育成」「諸外国との友好親善」「地域の発展への貢献」「災害復興支援」を主な活動領域として、環境・社会貢献活動に取り組んでいます。

◆イオン チアーズクラブについて

イオン チアーズクラブは、小学1年生から中学3年生までの子どもたちに対して、全国のイオングループの店舗周辺等を活動拠点とし、体験活動を通じて無意識のうちに環境や社会貢献に興味を持ち、自ら考える場を提供しているクラブです。

詳細はこちら：<https://www.aeon-hokkaido.jp/corporation/social/cheers/>

【イオン チアーズクラブメンバー募集中】

詳しくはイオン北海道の各店サービスカウンターまたは、右の二次元バーコードよりご確認ください。



◆株式会社エコテックの「ミズゴケ環境体験プログラム」について

株式会社エコテックは、南幌町夕張川幌向地区の自然再生地において、湿原の貴重な生態系を未来に残すため、ミズゴケの栽培・移植や外来種除去などの保全活動を継続的に実施しています。湿原再生と環境保護の意義について学ぶ環境体験プログラムをこれまでに石狩川流域の教育機関やNPO等と連携し、複数回開催しています。